

東北圏地域づくりコンソーシアム 団体紹介

東北圏地域づくりコンソーシアムは、多様な主体の協働による地域コミュニティの自立及び再構築のための活動支援と、その基盤となるコンソーシアム(共同事業体)の形成を通じて、地域づくりにおけるガバナンスの改革と地域コミュニティの持続的発展に寄与することを目的として活動しています。

沿革

- 2008年5月13日 任意団体(東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会)として発足。
- 2008年度 地域の元気再生事業の採択を受け、「東北圏地域づくりコンソーシアム」社会実験プロジェクトを展開。
- 2009年度 地域づくりに関わる「オープン研究会」を定期的に開催(～2010年度)。
- 2010年度 東北各地の中間支援組織との連携強化を図る「キャラバン(車座集会)事業」を実施。
- 2011年度
 - 福島県浪江町と協働で分散避難した町民をつなぐ「浪江のこころプロジェクト」を展開(～現在)。
 - 被災地域のコミュニティ再生・復興まちづくりを支援するため、関係団体等と「復興まちづくり推進協議会」を結成し、各種モデル事業を展開(～2012年度)
- 2012年12月25日 一般社団法人格取得

組織概要 (2016年6月29日現在)

- 所在地 住所 宮城県仙台市宮城野区榴岡2丁目3-15 花本ビル601
電話 022-353-7550
- 会員数 11名 (個人・正会員)
- 役員 代表理事 増田 聡 (東北大学大学院経済学研究科 教授)
代表理事 新川 達郎 (同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)
理事 青木 ユカリ (コミュニティ・ワークス 代表)
理事 遠藤 智栄 (地域社会デザイン・ラボ 代表)
理事 大泉 太由子
理事 榎原 進 (特定非営利活動法人都市デザインワークス 代表理事)
監事 古川 隆 (宮城大学地域連携センター地域振興事業部 地域振興事業部長)
- 顧問 山田 晴義
櫻井 常矢 (高崎経済大学 教授)

主な活動内容

地域コミュニティ再生・復興まちづくり支援プロジェクト

1. 復興まちづくり推進員の活動支援

震災からの復興に取り組む住民団体や、地域コミュニティの再生のため地域に配置されている「復興まちづくり推進員」等と連携して、住民による復興まちづくり活動をサポートしています。

2015年度は主に以下の地域で支援活動を行いました。

- 東松島市(東松島市復興まちづくり推進員の活動支援)
- 多賀城市(多賀城市地域支援員の活動支援)
- 南三陸町(一般社団法人復興みなさん会との連携)



復興公営住宅での入居予定者交流会
(南三陸町・復興みなさん会)



復興公営住宅での自治会形成支援
(多賀城市地域支援員)



復興公営住宅自治会支援(コミュニティカフェ)
(東松島市復興まちづくり推進員)



子育て世代のまちづくりへの参画に向けた支援
(ママサロン 東松島市復興まちづくり推進員)



椿をテーマとしたまちづくり活動
(町内視察ツアー 南三陸町・復興みなさん会)



仮設住宅での交流活動(夏祭り)の支援
(南三陸町・復興みなさん会)

2. 浪江のこころプロジェクト

全国各地に分散して避難生活が続ける浪江町民の声を集め・伝えていくため、全国各地の取材協力者と連携しながら、町広報紙(浪江のこころ通信)に町民の声を掲載するための訪問・取材活動を2011年6月から継続しています。

3. 浪江町復興支援員の活動支援

福島県外に避難されている浪江町民に対して、交流会の開催や戸別訪問、情報提供等を通じて支援を行う「復興支援員」の取り組みを、全国の中間支援組織と連携してサポートしています。

浪江町復興支援員は、2016年度には7か所(宮城、茨城、群馬、埼玉、千葉、神奈川、福岡)に配置され、各地域の状況に応じた支援活動を行っています。当コンソーシアムでも宮城拠点を担当。北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形にお住まいの方のサポートを行っています。



復興支援員の合同研修(推進会議)の開催



町民の交流会の様子

地域づくりの政策形成支援プロジェクト

1. 東松島市復興まちづくり計画市民委員会(総合計画策定委員会)の運営支援

市の新しい総合計画(兼・復興まちづくり計画)の策定に市民の意見や想いを反映させるために設置された市民委員会の運営サポートを行いました。



市民委員会開催の様子